

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2017-196302(P2017-196302A)

【公開日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2016-91597(P2016-91597)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月19日(2019.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源から出射される、赤外域の第1照明光と可視域の第2照明光と、を被検眼に同時に又は交互に照射する照射光学系と、

前記第1照明光および前記第2照明光における、被検眼からの戻り光を受光する受光素子を1つ又は複数有する受光光学系と、

前記受光素子から出力される信号に基づいて被検眼の画像を形成する画像形成手段と、

前記第1照明光の戻り光に基づいて前記画像形成手段で形成される時系列の被検眼の画像を、観察画像としてモニタに表示する表示制御手段と、

前記観察画像が表示される間に、被検眼の画像をキャプチャ画像として取得するためのトリガとなるトリガ信号を出力するためのトリガ信号出力手段と、

前記トリガ信号の出力後、且つ、前記第2照明光の出力が安定した状態で、前記画像形成手段で形成される前記第2照明光の戻り光による被検眼の画像を、キャプチャ画像として取得する撮影制御手段と、を有する眼科撮影装置。

【請求項2】

前記撮影制御手段は、前記トリガ信号に基づいて、前記光源からの前記第2照明光の一時的な出力を開始させ、その後、出力の安定に要する第1期間が経過したタイミングを前記キャプチャ画像の取得開始タイミングとする請求項1記載の眼科撮影装置。

【請求項3】

前記光源は、前記第2照明光として少なくとも緑色のレーザー光を出射し、

前記第1期間は、前記緑色のレーザー光の出力開始から出力が安定するまでの期間を考慮して定められている請求項2記載の眼科撮影装置。

【請求項4】

前記照射光学系における前記光源と被検眼との間の光路上において、前記第1照明光が通過可能であり、且つ、前記第2照明光が遮光される第3状態と、少なくとも前記第2照明光が通過可能である第4状態と、に切り替えるための駆動部を有し、

前記撮影制御手段は、トリガ信号の出力前から予め第2照明光が点灯された状態で、前記トリガ信号に基づいて前記駆動部を駆動して前記第3状態から前記第4状態へと切り替え、その切り替後に形成される前記第2照明光の戻り光による被検眼の画像を、キャプチャ画像として取得する請求項1から3のいずれかに記載の眼科撮影装置。

【請求項 5】

前記光源は、互いに異なる 2 つ以上の色の光を前記第 2 照明光として同時に射し、

前記受光光学系は、同時に射される前記第 2 照明光の色の数だけの受光素子を少なくとも持ち、更に、少なくとも 2 色の前記第 2 照明光に基づく戻り光を、色毎に異なる受光素子へ導くための波長分離部を持つ請求項 1 から 4 のいずれかに記載の眼科撮影装置。